

置き薬医薬品販売士 2級認定教育

受講ガイドンス

2020年度版

教育受講の流れや方法など、
受講のために必要な情報が記されています。
学習の前に必ずこの冊子をお読みください。

主催：一般社団法人 日本置き薬協会

教育実施：一般社団法人 日本薬業研修センター

CONTENTS

○はじめに	2
○既存配置販売業者に課せられた配置員の資質向上について	3
○置き薬医薬品販売士認定教育制度の概要について	4
置き薬医薬品販売士2級認定教育	6
1) 教材の内容について	6
2) テキスト学習の内容・すすめ方	6
3) 添削問題の解答提出から結果返却	8
4) 添削問題の解答と送付	8
5) 通信教育修了後、認定申し込み	10
6) 1級認定教育について	10
7) 継続教育の受講	10
8) お問い合わせ、ご質問は	10

内容につきましては、変更になる場合もあります

・・・ はじめに ・・・

「置き薬医薬品販売士 2 級認定教育」の受講申込みの皆さんに、教材をお届けする運びとなりました。

教材の届いた今日、この日が受講のスタートです。

皆様はこれから置き薬の販売に携わり、地域のお客様個々との触れ合いを通して信頼を得、生活に欠かせない存在として活躍されていくことでしょう。

平成 21 年 6 月に施行された改正薬事法では、配置販売業においても医薬品の提供は、専門家による情報提供が求められています。また、既存配置販売業者は、改正薬事法附則第 12 条、平成 20 年 1 月 31 日付け薬食発第 0131001 号厚生労働省医薬食品局長通知及び平成 21 年 3 月 31 日付け薬食総発第 0331001 号厚生労働省医薬食品局総務課長通知に基づき、一定水準に沿った教育・研修をしないことになりました。

日本置き薬協会は、当該一定水準に沿った教育・研修を真摯に受け止め、今回の通知で示された一定水準に沿った教育・研修を実施することを目的としております。

置き薬従事者に求められている資質向上のための教育・研修を学ぶことにより、生活者からの信頼を得ることができるのです。

この日本置き薬協会認定教育では、置き薬従事者としての必要な知識から健康全般にわたる体系的な内容を理解し、学習します。この教育で学んだことを、実際の業務にどのように役立てられるのか、どのような課題があるのかなどを考えながら学び、地域のお客様から頼りにされる置き薬従事者になっていただきたいと願っています。

教育の運営や監理につきましては、日本薬業研修センターに委託しております。第三者機関での教育運営により、教育制度の水準が保たれ、厳格性が証明され、信頼が高いものになります。また、平成 21 年 12 月施行の改正特定商取引法および医薬品医療機器等法と関連省令・通知通達に関しては、群馬県の消費生活課と薬務課のご協力を得ております。さらに、消費者の参画に応えるため、全国薬害被害者団体連絡協議会の方々のご協力を得、テキストの作成、講義への参加も実施しており、国民的視点に立った教育・研修制度であります。

なお、教育の内容については、日本置き薬協会の意向に基づき作られておりますので、皆様の業務に役立つ内容であると考えております。

わたしたちも、皆さんのために全力を挙げてお手伝いをし、修了・認定に導くことがゴールであると考えています。ともにゴールに向けて第一歩を踏み出しましょう。

2020 年 4 月

一般社団法人 日本置き薬協会
会長 有馬 純雄

既存配置販売業者に課せられた配置員の資質向上について

既存配置販売業者は、改正薬事法附則第12条、平成20年3月31日付け薬食発第0131001号厚生労働省医薬食品局長通知及び平成21年3月31日付け薬食総発第0331001号厚生労働省医薬食品局総務課長通知に基づき、一定水準に沿った教育・研修をしないことはならないことになりました。

毎年、一定水準に沿った教育・研修を行い、資質の向上に努めることで既存配置販売業者が業務を続けることができると規定されています。

平成21年3月31日付け薬食総発第0331001号厚生労働省医薬食品局総務課長通知「薬事法の一部を改正する法律附則第12条に規定する既存配置販売業者の配置員の資質の向上について」に、一定水準の講習、研修等の標準的方法が示されています。

主な内容（ポイント）は以下の通りです。

【講習、研修等の実施方法】

●受講対象者（通知1-(1)）

既存配置販売業の下で配置販売業に従事するすべての配置員

●講習、研修等の実施体制（通知1-(3)）

教育、学術等の関係者および消費者等の参画を求め、客観性に実施されること。また講習、研修等の実施方法及び実績等の情報を原則すべて公表し、透明性を確保すること。

●講習、研修等の形式（通知1-(4)）

講習、研修等は、講義（座学）形式を基本とする。

ただし、諸事情により講義（座学）形式にて行うことが困難な場合には、講義（座学）形式と遠隔講座・通信講座を組合わせて行うことでも差し支えないが、遠隔講座・通信講座の時間数が講義（座学）形式の時間数を超えないこと。

●講習、研修等の内容（通知1-(5)）

次に掲げる内容をすべて含む教材が用意されていること。

- ① 医薬品に共通する特性と基本的な知識
- ② 人体の働きと医薬品
- ③ 主な医薬品とその作用
- ④ 薬事に関する法規と制度
- ⑤ 医薬品の適正使用と安全対策
- ⑥ その他配置販売業に従事する者として求められる理念、倫理、関連法規等

●講習、研修等の時間数（通知1-(7)）

講習、研修等は、毎年、30時間以上、適宜定期的かつ継続的に行われていること。

【講習、研修等を実施する際の留意点】（通知2）

実施する講習、研修等の概要について、各都道府県薬務課主管課に提出すること。

日本置き薬協会認定教育制度概要

日本置き薬協会では、置き薬医薬品販売士としての資質向上のため、体系的で継続的な教育を実施します。それぞれの教育を受講し、合格された方には、法の求める資質向上の講習を修了したことを証明する認定証を授与し、広く社会にPRしていきます。

この認定教育制度は、厚生労働省医薬食品局総務課長通知による既存配置販売業者に課せられた配置員の資質向上のための一定水準の講習に対応したものであるだけでなく、生活者に医薬品をより安全に、しかも効果的に服用してもらい、置き薬の活用を促す、生活者本位の教育・研修内容となっているのが特徴です。配置員として必要な知識をトータルに学習するのが、この教育認定制度です。

さらに、通知に規定されている各都道府県薬務課への講習、研修等の概要についての届け出についても対応します。

教育の特徴

	教育の狙い	受講対象者
置き薬 医薬品販売士 2級認定教育	置き薬従事者として業務を行うために必要な基礎知識を習得する	既存配置販売業において新たに業務を行うもの (実務に就く前に受講を終了)
置き薬 医薬品販売士 1級認定教育	2級認定者を対象に集合教育による研修を行い、置き薬従事者の必要情報を体系的に習得する	置き薬医薬品販売士 2級認定者
置き薬従事者 年次教育	置き薬従事者として継続的な資質を確保する、また、1級認定者の更新のための教育	置き薬医薬品販売士 1級認定者

教育の期間と認定試験方法、認定証の交付

	期 間	試験方法	交付
置き薬 医薬品販売士 2級認定教育	通信1ヵ月	・自宅添削、考査(3回)	・置き薬医薬品販売士 2級の称号授与 ・認定証を交付
置き薬 医薬品販売士 1級認定教育	集合3日間	・集合確認試験(2回)	・置き薬医薬品販売士 1級の称号授与 ・認定証を交付
置き薬従事者 年次教育	通信2ヵ月 集合3日間	・自宅添削、考査(1回) ・集合確認試験(2回)	・年次教育修了証明の 認定証を交付

教育の内容と認定までの流れ

通信教育

	開講時期、期間	教材内容
2級認定教育	随時開講 1ヶ月（①15時間+②15時間）	テキスト3冊 添削問題3回（300問）
年次教育	2020年6月下旬～8月下旬 2ヶ月（15時間）	テキスト1冊 添削問題1回（300問）

教育の時間数：以下の項目それぞれについて15時間となっています。

- ① 厚労省からの通知に記載されている内容について
- ② ①以外の内容で、配置員として知っておくべき内容

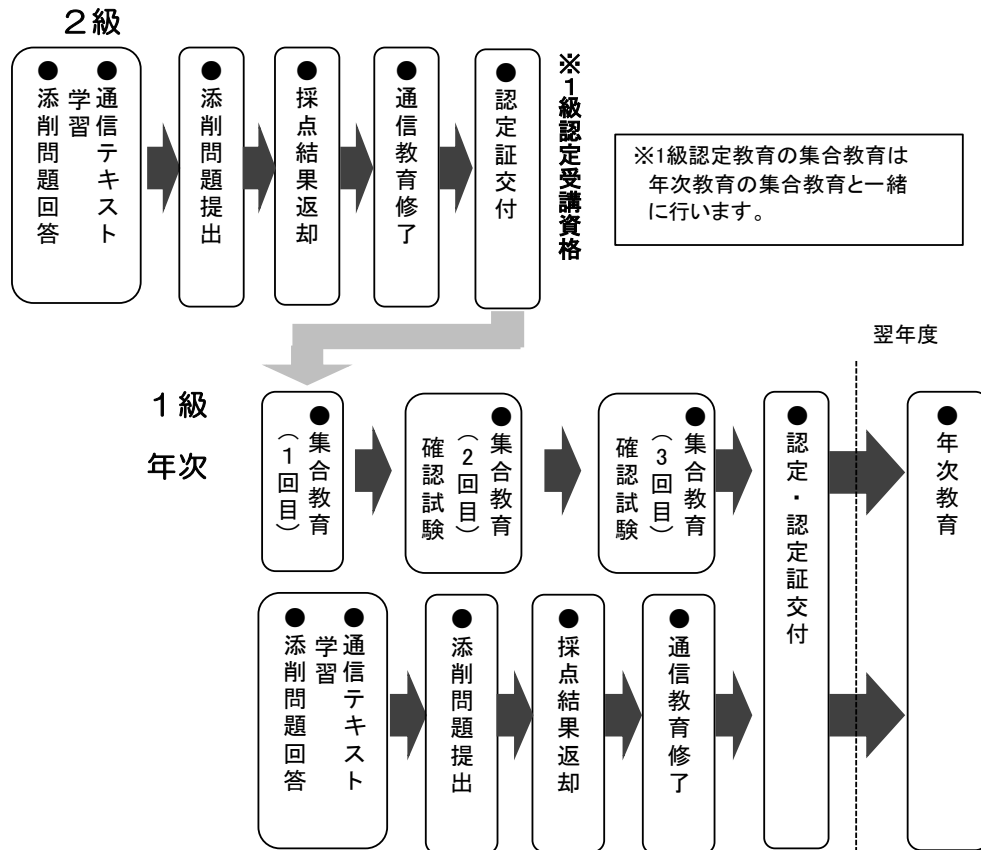
集合教育

	教育期間	開講時期
1級認定教育	3日間 (15時間)	1回目：2020年6月19日 2回目：新型コロナウイルスの関係で未定 3回目：新型コロナウイルスの関係で未定
年次教育	3日間 (15時間)	1回目：2020年6月19日 2回目：新型コロナウイルスの関係で未定 3回目：新型コロナウイルスの関係で未定

※開講時期については変更になる場合があります。

※2回目・3回目の教育については、例年は在住地区の近隣で開催される登録販売者講習の日程を1日、6時間ずつ受講いただいておりますが、2020年度は未定です。
決まり次第、ご連絡します。

認定までの流れ



置き薬医薬品販売士 2 級認定教育

置き薬医薬品販売士 2 級を受講される皆様へは、冒頭（5 ページ）の図で認定までの流れを確認していただきました。では、次に一つひとつの項目について詳しく見ていきましょう。

1) 教材の内容について

置き薬医薬品販売士 2 級で利用する教材は次の通りです。

教材の内容	
テキスト	置き薬医薬品販売士 1 級認定教育用 第 1 巻 置き薬医薬品販売士 1 級認定教育用 第 2 巻 置き薬医薬品販売士 1 級認定教育用 第 3 巻
添削問題	第 1 回 ~ 第 3 回 （1 か月の通信教育期間で提出します）

2) テキスト学習の内容・すすめ方

テキストの学習内容とポイントについては、以下の表にまとめてあります。

	カリキュラム	学習のポイント
1 巻	I. 置き薬販売業の倫理と使命	<ul style="list-style-type: none"> 置き薬販売業の歴史を学び、今後の新しい役割、使命について学習する。 顧客対応、敬語の使い方、消費者トラブルと回避法、クレーム処理に関する知識、守秘義務などについて学習する。 改正薬事法の背景となっているセルフメディケーションと、置き薬販売士の関わり、貢献法について学習する。 <p>→以上を学習することにより、置き薬医薬品販売士の社会的使命である国民の安心・安全をいかに確保していくか習得する。</p>
	II. 体の構造と働き	<ul style="list-style-type: none"> 人体総論として人体の区分に関する名称、特定部位の名称、人体の位置を示す面と方向、系統(器官系)について学習する。 人体の構造と働きとして、人体を構成する各器官系の構造、それらの働きについて学習する。 <p>→以上を学習することにより、置き薬医薬品販売士が国民の健康、安心・安全を確保するために、病気の予防や、未病対策、健康相談に十分対応できる基礎知識を習得する。</p>
	III. 医薬品の販売制度に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品の分類について整理し、それぞれの特徴、法的位置づけについて学習する。 配置販売業に関連する法律について学習する。 平成18年6月公布の改正薬事法について学習する。 情報提供について、確認事項、医薬品の保管方法、使用上の注意、置き薬の取り揃え、剤形別の服用法のポイント、医薬品副作用被害救済制度、薬害の歴史、添付文書の読み方、健康食品の表示方法、医薬品等の広告について学習する。 訪問販売法、および割賦販売法について学習する。 <p>→以上を学習することにより、医薬品販売業に関する者として知っておかなければならない法律、制度の重要事項を習得する。</p>

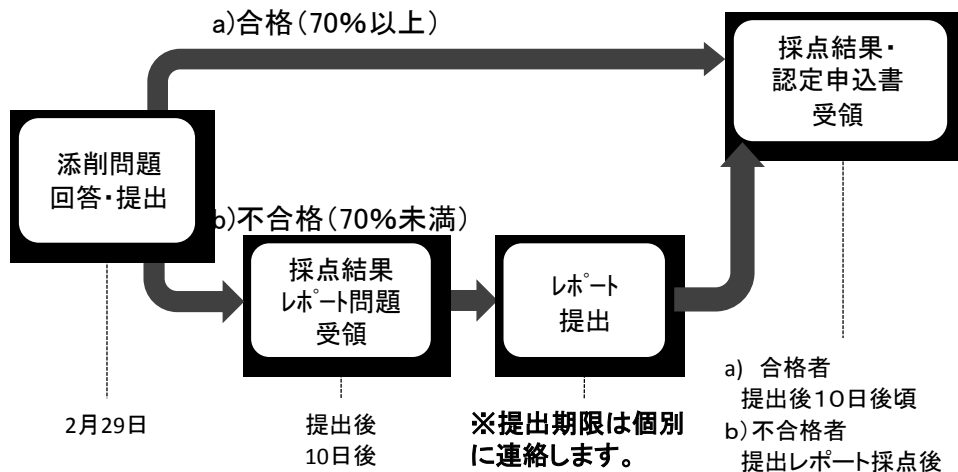
	カリキュラム	学習のポイント
2 巻	I. 医薬品の作用と仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品が体内でたどる吸収、分布、代謝、排泄の体内動態について学習する。 ・薬の有効性、安全性について学習する。 ・副作用と不適正な使用による有害事象、他の医薬品や食品、医療用医薬品との相互作用、飲み合わせ、さらに小児、高齢者、妊婦への投薬に関する注意点について学習する。 <p>→以上を学習することにより、置き薬医薬品販売士として必要な薬理作用について学習し、適正な医薬品に関する情報提供を行うための基礎知識を習得する。</p>
	II. 医薬品の成分解説と情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市販されている配置成分を含め、一般用医薬品として繁用される各成分について、薬効別に学習する。 ・各成分の特徴、飲み合わせ、年齢、基礎疾患、効き目や安全性に影響を与える要因、起こり得る副作用について学習する。 ・各薬効に該当する適用症状ごとに、生活・養生・予防のポイント、使い方のポイント、受診勧告の注意について学習する。 ・医薬品の効用や副作用、形状などについて学習する。 <p>→以上を学習することにより、医薬品に対する顧客への実践的な情報提供について習得する。</p>
	カリキュラム	学習のポイント
3 巻	I. 栄養・食生活・運動	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働き、エネルギー代謝、食事摂取基準について学習する。 ・性別・年齢別に必要な栄養素について学習する。 ・食品の表示、食品の組み合わせ、主な食品の栄養素と期待される働きについて学習する。 ・特別用途食品、保健機能食品(特定保健用食品、栄養機能食品)について正しい知識を学習する。 ・生活習慣病予防・改善に役立つ運動、筋肉強化運動、体と心をリフレッシュする運動について学習する。 <p>→以上を学習することにより、健康の維持、増進について最も基本となる栄養、食生活、運動について実践に役立つ知識を習得する。</p>
	II. 妊娠・出産・育児	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の生理、妊娠の仕組み、妊娠の診断と検査等について学習する。 ・分娩予定日、胎児の発育、母体の変化、妊娠関連の健康診断、妊娠中のトラブル、病気について学習する。 ・分娩の仕組み、分娩の経過、難産に対する手術、処置の基本知識について学習する。 ・授乳、食事、睡眠、排泄、体の清潔、環境、予防接種等について学習する。 <p>→以上を学習することにより、核家族の中で妊娠・出産・育児に悩む方々をサポートし、安心して子どもが産める社会づくりのために貢献できる知識を習得する。</p>
	III. 介護	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の意味、目的、注意点、対象、介護者への配慮、介護保険制度について学習する。 ・高齢者の生理的特徴について学習する。 ・要介護者に対応した食事と栄養、入浴、排泄、睡眠(寝具)、移動、住環境の整備、褥瘡、認知症、リハビリテーション等について学習する。 <p>→以上を学習することにより、介護に関する基本的な知識を身につけ、訪問先において幅広い相談に対応できるようにする。</p>
	IV. 公衆衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生として人口問題、アルコール依存症、薬物依存症、予防接種、食中毒、伝染病・感染症の予防、インフルエンザ対策、メタボリック・シンドローム、寄生虫・ダニなどについて学習する。 ・臨床検査に関する基本的な知識として、臨床検査の基準範囲、検査値の変動、体の基本的な計測について学習する。 ・日本置き薬協会置き薬従事者の業務指針 <p>→以上を学習することにより、置き薬医薬品販売士として幅広い健康相談に対応できる知識を習得する。</p>

3) 添削問題の解答提出から結果返却

テキスト学習をすすめていくと同時に、添削問題に取り組みます。添削問題はテキストの1巻から3巻に対応し、1回～3回まであります。提出期限までにすべての添削問題を回答し、日本薬業研修センターに提出して下さい。

置き薬医薬品販売士2級認定教育は、入社前の教育として随時スタートします。提出期限は受講開始から1ヶ月後となります。

添削問題の解答提出から結果返却まで



4) 添削問題の解答と送付

添削問題の実際の解答のしかた、送付のしかたについて見ていきましょう。

(1) 解答はマークシートで

問題に添付してあるマークシートに解答をマークします。なお、その際には、まず解答記入控え欄に答えを記入し、一度確かめてからマークシートにも記入していきましょう。

●マークシートの記入方法の注意点

四角い枠の中をきれいに塗りつぶしましょう。マークが薄かったり、はみだしたりすると、正しく判定ができません。

番号	解答欄										
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ		コ
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	← よい例
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	← 悪い例
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	← 悪い例
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	← 悪い例
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	← 悪い例

(2) 氏名、添削問題番号、受講者番号の確認

氏名、添削問題番号、受講者番号の確認

置き薬医薬品販売士2級認定教育 第1回 添削問題解答用紙 2020年第11期講座		添削問題番号				受講者番号						
		0	1	3	1	1	2	3	4	5	6	
田中 一郎 様	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- ①氏名が正しく記載されているか確認してください。
- ②自分の受講者番号を確認し、正しくマークされているか確認してください。
- ③添削問題番号は下表の添削問題の回数に合わせ、正しくマークされているか確認してください。

問題番号 (2級)	第1回	第2回	第3回
問題番号	0131	0132	0133

(3) マークシート解答のときに注意すること

- ①氏名、添削問題番号、受講者番号が正しく記載されているか確認します。
- ②解答は、1から100までであるすべての解答欄にマークします。
- ③わからない問題を飛ばして次へ進むときなど、解答番号とマークした答えがずれることがあります。このようなことのないよう、解答番号と答えを確認しながらマークしていきましょう。
- ④提出されたマークシートは返却しませんので、自分の解答は解答記入控え欄に記入しておきましょう。
- ⑤解答欄はア～コまでの10の欄が設けてありますが、解答番号ごとに使用する解答欄の数が異なるので注意しましょう。
- ⑥解答番号1つに対して、マークする数は1つです。二重解答はできません。
- ⑦筆記用具はHBかBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、間違えたときは消しゴムできれいに消して新しい答えをマークしましょう。
- ⑧マークシートは、指定されている折り曲げ箇所以外を折り曲げると、正しい添削結果が判定できなくなるので、折り曲げないよう注意しましょう。

(4) マークシートの送付方法

教材に同封されている返信用封筒に必要な額の切手を貼って日本薬業研修センターに送付します。(送付先は10ページ記載のお問合せ先と同じです)

解答を提出するときに注意すること

- ①提出の前に、もう一度氏名・添削問題番号・受講者番号を確認しましょう。
- ②問題集は手元に保管し、マークシートのみ提出します。
- ③返信用封筒に必要な額の切手を貼って送付します。

5) 通信教育修了後、認定申し込み

通信教育の修了については日本置き薬協会と日本薬業研修センターが判定と認定を行います。修了者には、「カード型認定証」が交付されます。業務時において、常にこのカード型認定証を胸につけることで、お客さまに置き薬医薬品販売士2級の認定者であることが証明されます。

6) 1級認定教育について

冒頭(5ページ)の図で案内の通り、2級認定者は、認定直後に開催される1級認定のための集合教育を受講することになります。1級認定教育の案内は別途行います。

7) 継続教育の受講

置き薬医薬品販売士として、恒常的に新しい情報や知識を取得し、自己研鑽を図るために、毎年継続教育として、年次教育を受講する必要があります。

このことは、既存配置の配置員として事業を継続するために必要な、厚生労働省の定める一定水準の講習、研修を受講するという事にとどまらず、継続教育を受講することで、継続的な資質向上の置き薬医薬品販売士としての強い自覚と豊富な知識を持つことができます。そして、お客さまからの高い信頼を得ることができます。

⇒ 厚生労働省の定める一定水準の講習、研修を受講については3ページの<既存配置販売業者に課せられた配置員の資質向上について>を参照してください。

8) お問い合わせ、ご質問は

「こんなとき、どうしたらいいんだろう？」わからないこと、質問したいことがありましたら、以下のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

教育に関するお問合せ窓口

一般社団法人日本薬業研修センター
横浜事務処理センター・人材育成センター
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-10 楓第2ビル4階
TEL : 045-478-5453 FAX : 045-478-5461

教育以外に関するお問合せ窓口

一般社団法人日本置き薬協会
〒332-0034 埼玉県川口市並木 2-30-6 (株)内外救急薬品内
TEL : 080-5514-7511 FAX : 048-251-9657

2020 年度版受講ガイダンス

教育主催者：一般社団法人日本置き薬協会

〒332-0034 埼玉県川口市並木 2-30-6 (株)内外救急薬品内

TEL : 080-5514-7511 FAX : 048-251-9657

教育運営・監理：一般社団法人日本薬業研修センター
本部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-10 名和ビル 501 号

TEL : 03-5510-8031

横浜事務処理センター／人材育成センター

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-10 楓第 2 ビル 4 階

TEL : 045-478-5453 FAX : 045-478-5461

©Japan Retail Institute Inc. 2020

無断複写転載を禁じます。落丁・乱丁はおとりかえします。